

## 足利氏館(国の史跡, 百名城)(足利市家富町)(鑊阿寺(ばんなじ))

鑊阿寺(ばんなじ)は、栃木県足利市家富町にある真言宗大日派の本山である。「足利氏宅跡(鑊阿寺)」(あしかがしたくあと(ばんなじ))として国の史跡に指定されている。日本100名城の一つ。

### 概要

寺号は詳しくは「金剛山 仁王院 法華坊 鑊阿寺(こんごうさん におういん ほっけぼう ばんなじ)」と称する。足利氏の氏寺。本尊は大日如来。

鑊阿寺はもともとは足利氏の館(やかた)であり、現在でも、四方に門を設け、寺の境内の周りには土塁と堀がめぐっており、鎌倉時代前後の武士の館の面影が残されている。

### 歴史・沿革

- 12世紀の半ばに足利氏の祖・源義康が同地に居館(足利氏館)を構える。
- 1196年(建久7年) 足利義兼(戒名:鑊阿)が理真を招聘し、自宅である居館に大日如来を奉納した持仏堂、堀内御堂を建立。
- 1234年(文暦元年) 足利義氏が伽藍を整備、足利氏の氏寺となる。
- 南北朝時代 鶴岡八幡宮の支配下となる。
- 1922年(大正11年)3月8日 「足利氏宅跡」として国の史跡に指定される。
- 1908年(明治41年) 鑊阿寺本堂が古社寺保存法に基づく特別保護建造物(現行法の重要文化財に相当)に指定される。
- 1950年(昭和25年) 文化財保護法の制定により、本堂は重要文化財となる。
- 1951年(昭和26年) 真言宗豊山派から大日派として独立。
- 2006年(平成18年)4月6日 「足利氏館」として日本100名城(15番)に選定される。
- 2013年(平成25年) 本堂が国宝に指定された。

Wikipediaによる

